

50th

50th ANNIVERSARY

墨東五区サッカー選手権大会



目次

寄稿	1
50周年記念誌実行委員長 清水 裕三	1
公益財団法人 東京都サッカー協会会長 植田 昌利	1
墨田区長 山本 亨	1
墨田区スポーツ協会会長 澁谷 哲一	2
江戸川区長 斉藤 猛	2
一般社団法人 江戸川区スポーツ協会理事長 山崎喜美則	2
江東区長 大久保朋果	3
江東区スポーツ協会会長 梶原 克之	3
葛飾区長 青木 克徳	3
一般財団法人 葛飾区スポーツ協会会長 増井 範男	4
足立区長 近藤やよい	4
公益財団法人 足立区スポーツ協会会長 田中ひろ子	4
HISTORY 50周年あゆみ	5
第50回墨東五区記念誌座談会	6
主な墨東五区輩出選手	8
Anniversary ～Since1968～ 50周年の思い出	9
大会記録	20
編集後記	22



墨東五区サッカー選手権大会50周年を記念して

50周年記念誌実行委員長

清水 裕三（墨田区サッカー協会副会長）

1964年オリンピック東京大会でアルゼンチンに勝利、1968年メキシコ大会で銅メダル獲得しサッカー気運が高まってきた時代に、サッカー競技の普及と審判員の養成などを目的として組織され、江戸川河川敷の篠崎グラウンドを会場としてリーグ戦を展開していました。

こうした中、五区の関係者が集い、「五区サッカー大会」開催協議をすすめ、行政との関わり、グラウンドの確保など課題を克服し、昭和46年（1971年）江戸川区主管にて「第1回江東五区サッカー大会」が開催されました。

この時に開催主管区の順番を「江戸川区・江東区・葛飾区・足立区・墨田区」と持ち番と決めて現在に至るまで続いています。当時墨田区にはサッカーが出来るグラウンドが無く、5年後には何とかなるのではと5番目になったと先輩から聞いた記憶があります。

当初は、一般の部のみの大会開催でしたが、サッカー競技の普及、進展する中で、少年・中学・女子・壮年・少女とカテゴリーを創設してきました。

大会の節目の回は必ず墨田区が主管の年です。25周年には記念式典・祝賀会を開催しました。50周年に際し各区理事長様協議を行い、今回は諸般を考慮し祝賀会を止め記念誌を発行することとしました。50周年記念誌の発行を契機として、50年を振り返るとともに、この大会が価値と権威のある大会であるよう、次世代の若い力に期待しています。

私自身、墨田区サッカー協会の役員として長年この大会の携わり強く思い入れを持っています。実行委員長を務めさせていただきまして、各区関係者の皆様本当にありがとうございました。より一層「墨東五区サッカー選手権大会」と「各区サッカー協会（連盟）」の発展とご活躍を祈念いたします。

祝辞

公益財団法人東京都サッカー協会

会長 植田 昌利



墨東五区サッカー選手権大会50周年、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

1971年の第1回大会から50年の長きに渡り大会を継続され、今日までの発展に尽力された方々に心から敬意を表します。特に、少年・壮年・女子と各カテゴリーの大会

も順次実施し、現在では、ほぼすべてのカテゴリーを網羅した大会に成長され、多くの有望な選手を輩出されたことは特筆すべきことと思います。

1971年当時は、日本のサッカーはまだマイナースポーツであり、オリンピックはもとより、ワールドカップ出場など夢のまた夢とも言えるものでした。それから50年、日本のサッカーは驚くべき発展を成し遂げ、オリンピックもワールドカップも当たり前のように出場し、なでしこジャパンは世界にもなりました。

このような発展の一要因が、プロサッカーのスタートにあったことは間違いありませんが、一方で、不毛の時代にサッカーの種をまき、それを愛しみながら育てて来た皆様方のような多くの人々がいたからこそ、今日の姿があると言っても過言ではありません。

私たちは、折に触れて、それまで歩んできた道を振り返り、現在の位置を確認して将来の方向を見出していく必要があります。本大会も、大会を開催するだけに止まらず、地域との交流も深め、さらには指導者・審判の育成にも目を向けられ、ますます地元になくはならない存在になっていかれることを期待いたします。

終わりに、本大会がますます充実されること、そして、江東・葛飾・墨田・江戸川・足立各区サッカー協会（連盟）のさらなる発展を祈念してお祝いの言葉といたします。

大会50周年を祝して

墨田区長 山本 亨



墨東五区サッカー選手権大会が50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

この大会は、お互いの親睦と各種スポーツの技術力向上を目的として、毎年五区の持ち回りで実施しています。半世紀にわたり運営を支えてくださっている、各区の協会や関連団体の皆様には、サッカー

を通じての青少年の健全育成に多大な御貢献を賜っており、厚く御礼申し上げます。

さて、コロナ禍での東京2020大会を経て、今夏にはパリオリンピック・パラリンピックが開催され、サッカーをはじめとするアスリートの皆さんの力強い熱戦が、人々の心に勇気や感動を与えてくれました。

この記念誌も、感染症の影響を受けて発行が遅れたと伺っておりますが、困難な状況を乗り越え2022年11月に記念すべき50回大会を開催されたことは、皆様のサッカーへの情熱と五区の間際の象徴であると、深く敬意を表します。

区といたしましても、「墨田区スポーツ推進計画」に掲げた基本理念である「誰もがスポーツを楽しみ、スポーツでつながるまち すみだ」の実現に向け、子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、誰もが「マイスポーツ」を見つけ、気軽に運動・スポーツを楽しめるまちづくりを、一層力強く進めていく所存です。

今後とも、スポーツの力を地域力に活かしていきたいと考えていますので、皆様のお力添えを賜りますようお願いいたします。

結びに、墨東五区サッカー選手権大会の今後益々の繁栄と、皆様のご健勝・ご多幸を祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。



祝辞

墨田区スポーツ協会
会長 澁谷 哲一

墨東五区サッカー選手権大会が50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。墨東五区は、各種スポーツの交流が活発に行われ、相互の親睦と技術の向上に大いに寄与していると感じているところでございます。

近年、スポーツを取り巻く環境は大きく変わっています。特に、新型コロナウイルス感染症の猛威により、日常生活が制限されるなど、今までにない状況で活動されてきたことと思います。スポーツ・運動が自由にできない期間を乗り越え、今まで以上に墨東五区の皆さんがスポーツ・運動に親しめる環境を整えるためにも、引き続き、御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、2024年にはパリオリンピック・パラリンピックが開催され、2025年には世界陸上とデフリンピックが東京で開催される予定です。今後、スポーツに対する関心もますます高まってくるものと思われまます。スポーツは、健康増進、体力向上を図るばかりでなく、精神的なストレスを解消し、日常生活を心身ともに活力ある豊かなものにしてくれます。また、観る人に感動を与え、勇気や元気を伝える力があるなど、様々な形で人々に恩恵をもたらしてくれます。墨田区スポーツ協会といたしましても多くの皆さんが生涯にわたってスポーツ・運動を楽しみ、明るく活力に満ちた地域となるよう、引き続き連携を深めていければと思います。

50周年を契機として、貴大会のより一層の発展と繁栄を願ってお祝いの言葉といたします。

墨東五区サッカー大会50周年祝辞

江戸川区長 斉藤 猛



この度、墨東五区サッカー選手権大会が50周年を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。五区が一体となって行うこの大会は、サッカーの技術を高め合う場にとどまらず、区民の生きがいがづくりや健康づくり、地域振興においても非常に有意義なものです。

墨東五区大会は、自治体の垣根を超えたスポーツイベントであり、地域の絆を深め、友情を育む場として多くの人々に親しまれてきました。この大会が半世紀という長きにわたり続けられてきたのは、大会関係者の方々のご尽力はもちろんですが、なにより区民の皆様のご理解とご協力があってこそだと思います。50年の歴史の中で、多くの選手たちがこのピッチで汗を流し、健闘を称え合い、そして数々の感動を生み出してきました。

また、墨東五区大会は次世代の育成にも大きな役割を果たしてきました。幅広い年代の選手たちがこの大会を通じて交流し、次の世代へと技術や思いを引き継いでいく潮流が生まれたことは、私たちにとって大きな喜びです。これからも、この大会がスポーツの発展に寄与し、生涯スポーツの機会を提供する場であり続けることを願ってやみません。

結びに、50周年という節目を迎えた墨東五区サッカー選手権大会をこれまで支えてくださいました各区の関係役員の皆様へ心から敬意と感謝を申し上げますとともに、今後ますますの発展を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

墨東五区サッカー大会50周年によせて

一般社団法人江戸川区スポーツ協会
理事長 山崎喜美則



墨東五区サッカー大会50周年、おめでとうございます。

墨東五区大会は、東京下町の近隣五区が、スポーツ競技を通じてお互いに切磋琢磨しながら、友好を深め、それぞれの地域スポーツの発展に寄与してきました。

墨東五区サッカー選手権大会が50年の佳節を迎えられたのは、五区の連盟・協会関係者、行政の担当者の並々ならぬご尽力があったればこそと、心より敬意を表します。そして何よりもサッカーを愛する区民の皆さんが、この大会を支えていただいているからだと思えます。

さて、少子高齢化が現実となる今日において、各スポーツ団体も次の世代へどうやってスポーツの流れを繋いでいくかが大きな課題となっています。こうしたときこそ、墨東五区が近隣区としてそれぞれの取組の情報を交換し、共通の課題に対峙する知恵を出し合っていくことが大切だと思います。

本年7月に新発しました一般社団法人江戸川区スポーツ協会としても墨東五区発展の一助となるべく、尽力して参ります。

墨東五区サッカー選手権大会が50年を節目として、益々発展されることを祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



ご祝辞

江東区長 大久保朋果

このたび、墨東五区サッカー選手権大会が50周年を迎えられましたことを、江東区を代表しまして心よりお喜び申し上げます。

墨東五区サッカー選手権大会は、昭和37年に有志の方々による呼びかけにより発足しました。当時の各区は、サッカーチーム数が少なく、区単独でサッカー大会を開催すること難しい状況でした。そこから、5つの区を集めたリーグ戦が開催され、今日まで多くの選手や国際審判・一級審判が活躍されてきました。

この50年の間には、国内プロサッカーリーグのJリーグやなでしこリーグの発足があり、日本国内のサッカー環境が大きく変化しました。また、ワールドカップやオリンピックなどの国際大会でも多くの日本選手が活躍するようになり、2011年FIFA女子ワールドカップでは日本が金メダルを獲得しました。今後も地域との交流や地元に着した活動が継続され、多くの方がサッカーに親しむ中で国内外で活躍する選手や審判員が育成されることを期待しています。

結びに、50周年という節目を迎えられた墨東五区サッカー選手権大会の益々のご隆盛と関係者のご健勝・ご活躍を心から祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

祝辞

江東区スポーツ協会
会長 梶原 克之



このたび、墨東五区サッカー選手権大会が50周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

墨東五区サッカー選手権大会は、昭和46年に第1回大会を開催し、現在は一般の部と少年の部の種別で、非常にレベルの高い大会に発展しております。これは、五区サッカー連盟の歴代の会長をはじめ役員の皆様のご尽力の賜物であり、心から敬意と感謝を表す次第です。

さて、サッカーは単なるスポーツではなく、人々をつなぎ、友情やチームワークの大切さを教えてくれる素晴らしい活動です。この大会を通じて、多くの選手が成長し、輝かしい思い出を作り、未来へと羽ばたいていったことと思います。また、競技力向上や審判技術の向上を目的とした積極的な取り組みによって、JリーグやWEリーグで活躍するトップアスリートや国際審判・一般審判も多く輩出しております。

未来の大会に向け、新しい世代の選手たちが新たな歴史を築き、サッカーを通じて地域交流を深め、スポーツのさらなる発展に寄与していただくことを期待しております。

私ども江東区スポーツ協会といたしましても、貴連盟をはじめ各関係団体と協働し、区民の健康増進とスポーツ振興に貢献する所存でございます。

結びに、墨東五区サッカー選手権大会が、この記念すべき50周年を契機に、益々発展されることを期待するとともに、五区サッカー連盟の皆様方のご健勝・ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝!墨東五区サッカー選手権大会50周年

葛飾区長 青木 克徳



この度、墨東五区サッカー選手権大会が50回の節目を迎えられたこと、誠にめでたうございます。

墨東五区大会は、近隣5区のスポーツを通じた競技力向上や選手・役員同士の交流を目的として、現在14種目の大会が開催されています。サッカー選手権大会につきましては、各区の歴代役員の皆様のご尽力で、50年の長きにわたり途絶えることなく開催いただきましたことに敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げます。

さて、サッカーは子どもから大人まで幅広い世代の方々に愛される、非常に人気の高い競技です。葛飾区では、サッカー漫画の金字塔『キャプテン翼』発祥の地として、毎年1月に「キャプテン翼CUPかつしか」を開催するなど、サッカーを通じて健康で活気あふれるまちづくりに取り組んでいます。これからも、近隣区の皆様とも連携しながら、サッカーの魅力を発信していきたいと考えておりますので、何卒よろしく願いいたします。

結びに、墨東五区サッカー連盟・協会の益々の発展と、墨東五区サッカー選手権大会が末永く開催されますことを祈念いたしまして、祝辞とさせていただきます。





墨東五区サッカー選手権大会50周年おめでとう！

一般財団法人 葛飾区スポーツ協会

会長 増井 範男

墨東五区サッカー選手権大会50周年、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。葛飾区スポーツ協会は41種目の競技団体で構成され、競技力の向上はもとより「がんばろうスポーツで元気に」というスローガンに思いを込め活動しています。区民の皆様が自分にあったスポーツに親しみ、健康で元気な毎日を過ごせる環境の実現に向けて、各種事業に取り組んでおります。

墨東五区大会は、近隣5区競技団体が連携協力し、競技力の向上と選手や役員同士の親睦を兼ね備えた、大変意義のある大会であると思います。

なかでも、サッカー選手権大会については、新型コロナウイルス感染症による中止はありましたが、半世紀に亘り続いた大変歴史のある大会であり、歴代の役員、スタッフの皆様へ感謝と敬意を申し上げます。

さて、Jリーグ発足以降、日本のサッカー技術が目まぐるしく向上し、現在では海外でプレーする選手の活躍が、多くの国民に勇気と希望を与えております。これも地域におけるサッカーの指導や大会運営など、草の根活動の賜物であり、今後墨東5区のサッカー協会（連盟）からも、スター選手が現れることを期待しております。

結びに、墨東5区のサッカー協会（連盟）の益々の発展とご活躍を祈念いたしまして、祝辞とさせていただきます。

墨東五区サッカー選手権大会 50周年を祝して



足立区長 近藤やよい

墨東五区サッカー選手権大会が、50周年の節目をお迎えになりましたことを心よりお慶び申し上げます。

半世紀にわたり、墨東五区のサッカー競技愛好者の競技力向上と交流・親睦を目的に大会を開催されてこられた、各区のサッカー連盟・協会の歴代会長をはじめ、役員の方々ならびに会員の皆様のご尽力に深く感謝と敬意を表します。

サッカーは、日本でも有数の人気を誇り、多世代に渡り楽しまれている生涯スポーツです。足立区では、Jリーグ「東京ヴェルディ」と連携協力の協定を結び、障がい者のサッカー教室や、5人制サッカー（視覚障がい者サッカー）などバラスポーツの普及を通じた障がいのある方への理解の促進を進めていく道徳教育の取組み等行っています。

今後も墨東五区の皆様とサッカーを通じた健康・体力づくり、及び青少年の育成ならびに地域スポーツの発展に寄与してまいります。

結びに、墨東五区サッカー選手権大会のさらなる発展と、各区サッカー連盟・協会ならびに関係各位の益々のご健勝とご活躍を心よりご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

墨東五区サッカー選手権大会 50周年によせて



公益財団法人足立区スポーツ協会
会長 田中ひろ子

墨東五区サッカー選手権大会50周年、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。また、長きにわたり大会の運営・発展にご尽力いただいた各区の歴代会長をはじめ大会役員の皆様に敬意と感謝を表します。

サッカーは、子どもから大人まで、そして男女問わず楽しめるスポーツとして広く認知されており、墨東五区サッカー選手権大会においても、少年・少女・壮年等の幅広いカテゴリーで参加をすることができます。これにより、たくさんの方がサッカーを楽しまれており、参加者の競技力向上と健康維持に深く寄与いただいています。

半世紀にわたる大会の歴史により、本大会は墨東五区のサッカー競技者にとってなくてはならないものとして根付いています。私共スポーツ協会も、皆様をスポーツを楽しめる環境づくりの支援を通じて、共にこれからの歴史を歩んでいけることを願っております。

50周年を契機に、墨東五区サッカー選手権大会が益々の発展を遂げるようご祈念を申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

墨東五区サッカー選手権大会は、昭和37年（1962年）歯科医師であった故千葉義男先生（公益財団法人東京都サッカー協会副理事）を中心に、有志の方々の呼びかけによって発足した「江東五区サッカーリーグ」が起点となり、東京都東地区の五区の代表チームが参加し覇権を競うサッカー大会です。

「江東五区サッカーリーグ」が発足した当時としては、五つの区を集めたリーグ戦は初めての試みで、新聞、雑誌などにも取り上げられました。当時は、各区ともチーム数が少なく、サッカー協会（連盟）がない区もあり、単独での大会開催などできない状況であったため、五区内でチームを集めました。リーグ戦で使用した現在の江戸川河川敷にあるグラウンドも、行政に直接交渉し利用許可を得たものです。ゴールも財団法人東京都サッカー協会に2組寄贈してもらい、サッカー場として利用できるようになったのは、昭和44年（1968年）のことになります。

五つの区とは、江戸川区、墨田区、江東区、葛飾区、足立区であり「江東五区リーグ」と言われておりますが、正式には当時存在した「江東五区サッカー連盟」が主催した大会の俗称であり、一般的には「五区リーグ」と呼ばれておりました。

その「五区リーグ」からは、審判員も育ち、国際審判員や一級審判員も輩出する活動に繋がりました。現在も若い世代に引き継がれ、日本サッカー界で活躍しています。

五区内の選手では、各カテゴリーでの全国大会へ出場する選手も数多く輩出され、Jリーグ、WEリーグでも多くの選手が活躍しています。また、日本代表に選出される選手も誕生し、海外でも活躍する選手が増えています。

そのように日本サッカー界に貢献している選手、審判員も墨東五区サッカー選手権大会を経験してきており、五区内のサッカーファミリーも老若男女問わず増えています。

この度、墨東五区サッカー選手権大会が50周年を迎えるにあたり、その歴史を振り返り、未来の糧とすべく「記念誌」を発行することになりました。一重に公益財団法人東京都サッカー協会、一般社団法人スポーツ協会、行政、関係各団体の皆様の長年にわたるご支援のお蔭だと思い心から感謝申し上げます。

継続は力なり

継続は力なり、継続は力なり人生いたる所にせきざんあり、通ずるも楽し、窮するも楽し、新しいものを創設するということも大変なこと。それを継続する事はより以上の多大な努力を要するものである。

50年間の主な記録

【昭和37年度（1962年）】一般の部のみで発足
【第1回大会】昭和46年度（1971年）から第18回大会（1988）迄は、江東五区サッカー選手権大会
【名称変更】平成元年度（1989年）第19回大会より墨東五区サッカー選手権大会
（少年の部）昭和60年度よりエキシビションで行われ、平成元年度（1989年）正式種目となる。

【総合順位の設定】

平成元年（1989年）第19回大会より

【現在のカテゴリー】

正式種目「一般・少年」

【エキシビション】

中学部の部（OVER）40・50・60

少女の部・女子の部・レディスーシニア

（中学の部）第24回大会より平成6年（1994年）

（OVER）40・50第22回大会より平成4年（1992年）

（OVER）60第48回大会より令和2年（2020年）

（少女の部）第22回大会より平成4年（1992年）

（一般女子の部）第26回大会より平成8年（1996年）

レディスーシニア第51回大会より令和5年（2023年）

【主な大会】

第1回大会（一般）

昭和46年（1971年）主管：江戸川区 会場：篠崎サッカー場

期日：11月21日、28日、12月5日

（参加区）葛飾区、江戸川区、墨田区、江東区、足立区

第1回大会（少年）

・平成元年（1989年）主管：足立区 会場：荒川日出町緑地

・期日：11月19日、26日、12月3日

（参加区）葛飾区、江戸川区、墨田区、江東区、足立区A・B

第1回大会エキシビション（少年）各区単独チームの参加

・1985年（昭和60年）

主管：江戸川区 会場：江戸川区陸上競技場

期日：11月4日、21日

（参加区）

<葛飾区>小菅SC / 渋谷SC

<江戸川区>小岩フェニックス・東小松川コンドルス

<墨田区>業平蹴球団

<江東区>江東区少年SC（A・B）

<足立区>中北少年SC・鹿浜SC

交流大会（少年・少女）

2021年11月14日、28日（墨田区総合運動場）

・25周年記念誌発行・祝賀会開催 平成7年（1995年）

50周年実行委員 青山 恩

第50回墨東五区記念誌座談会

墨東五区記念誌編纂にあたり、江東区、葛飾区、足立区、墨田区、江戸川区から各区、各部の関係者が集い2回の座談会が行われ、墨東五区のお話をいただきました。

墨東五区サッカー選手権大会のはじまり、江東区五区サッカーリーグは昭和37年（1962年）故 千葉義男 先生（東京都サッカー協会副理事） 山本敏雄氏 山本顕芳氏 山田正氏 他、有志の方々の呼びかけによって発足しました。

第1回江東五区サッカー大会（現墨東五区大会）開催にあたりグラウンドに課題があり解決に向けて大変なご努力をされ何とか開催にこぎつけたそうです。

また、各区とも同様にグラウンドの問題を抱えていましたが、幹事区の年までにはと、それぞれ行政と協力して環境を整え、江東区、葛飾区、足立区、と続き次の墨田区がグラウンドの確保が困難だった為、繰り上げて江戸川区、で開催し、墨田区が五区の中で最後に幹事区として開催するにいたりしました。

グラウンド環境という点では、近年は各区のサッカーグラウンドや校庭の人工芝化が徐々に進んでいるのは嬉しいとお話もありました。

第2回大会も無事開催され、第18回大会まで「江東五区サッカー大会」の名称で開催されてきました。

座談会では、各区の協会、連盟の墨東五区サッカー選手権大会の運営に長年に渡り携わられた方々から、若い世代に受け継いでいきたいとお話がありました。

ある区では、役員を70才定年とし、後進に引継ぎやすい環境を整えているとお話を伺い、他の区からも、今後の墨東五区を担っていただく世代の育成が課題とお話が多く聞かれました。

今年度より葛飾区では、文部科学省の実証試験として、スポーツ庁のガイドラインに沿った指導環境を整え中学生の部活動の中で多くの子供たちが参加できるよう、指導資格のある指導者が低料金で指導する活動を行っていくとお話がありました。

これまでのクラブチームとして活動しているところとうまく共存できるのか？二極化になってしまうことを懸念しているという意見もありました。時代変化を感じるお話でした。

11月という墨東五区大会の開催日程について、少年の 카테고리では同時期に様々な大会が実施され、出場予定の選手が、勝ち進むと全国へつながる大会を優先する傾向が見られ、また、中学生の 카테고리でも同様に他の大会日程と重なり、前週に出場した選手が、次週の試合には出られないことがあるなど、墨東五区大会に照準を合わせたチーム編成が困難になっている状況があるとのことでした。さらには、受験や塾のための時間と重なってしまうというもどかしさもあるようです。

大会運営としてもそれらを考慮し、大会の選手登録人数の枠を大幅に増やすなどの対応をしてきましたが、約1か月に渡る大会期間中の選手の確保という面では課題もあるとのことでした。

第1回、第2回の座談会ともに各カテゴリーを正式種目にしてほしいとの要望がありました。これまで一般の部と少年の部が正式種目とされ、大会の成績に影響するのはその2つのカテゴリーとなっております。

今後は各区からの要望を踏まえ、その他のカテゴリーも正式種目とし、すべてのカテゴリーの成績で、総合優勝を決定する可能性について検討を行うなど、より魅力ある大会に向け議論をしていきたいと思っております。



また、選手の高年齢化に伴い、壮年のカテゴリーでオーバー70を作ってほしいとの声があがりました。諸先輩方のパワーみなぎるご提案に敬服いたしました。

墨東五区サッカー選手権大会運営にあたっての会議は、現在は大会前の1回と大会終了後の反省会の2回程度となっており、今後の墨東五区サッカー選手権大会を考えていく上で、もう少し五区で話し合える場を設けていけたらと思います。

大会が半世紀も続けてこられた歴史ある大会であることを大切に、これからも墨東五区サッカー選手権、子ども～シニアまで生涯スポーツとして楽しめる場として、また、いまやこれからのサッカーを取り巻く環境に合わせた大会内容となるよう、各区サッカー協会・連盟そして行政とともに取り組み、末永く続く活動していこうという気持ちを新たにしました。

更に75年、100年とよりよい墨東五区サッカー選手権大会を目指していきましょう。皆さまのご協力、お願いいたします。

50周年実行委員 田中 猛

- 第1回座談会出席者**
- 江東区 サッカー審判インストラクター 原田 隆好
 - 江東区 壮年部部长 吉井 直樹
 - 葛飾区 強化部長 荒木 拓郎
 - 葛飾区 女子部部长 齊藤富太郎
 - 葛飾区 女子部副部长 山井 良緒
 - 足立区 社会人部運営委員長 関根 滋
 - 墨田区 副理事長 小林 雄二
 - 江戸川区 副理事長 苦米地満博
- 委員会メンバー**
- 江東区サッカー連盟 理事長 上田 崇雄
 - 江東区サッカー連盟 常任理事 青山 恩
 - 葛飾区サッカー協会 理事長 松村 龍雄
 - 足立区サッカー協会 副会長 安達 一之
 - トレーニングセンター長 石川 義晴
 - 墨田区サッカー協会 副会長 清水 裕三
 - 墨田区サッカー協会 理事長 芦埜 茂
 - 墨田区サッカー協会 事務局長 田中 猛
 - 江戸川区サッカー連盟 理事長 江田 修久
 - 江戸川区サッカー連盟 副理事長 苦米地満博
 - 江戸川区サッカー連盟 一般部部长 栗屋 英正
- 第2回座談会出席者**
- 江東区 少年サッカー連盟技術部長 大坂 大介
 - 葛飾区 一般部 安藤 毅
 - 足立区 女子委員会副委員長 神宮寺正昭
 - 墨田区 壮年部 高林 貞明
 - 江戸川区 中等部部长 大平 剛久
 - 江戸川区 女子部部长 草ヶ谷隼人
- (順不同敬称略)

主な墨東五区輩出選手

江戸川区

氏名	出身チーム	代表する所属チーム
近藤 裕介	江戸川ボーズ	U-18, 19, 20 日本代表、FC東京、ヴィッセル神戸他
福森 健太	清新三小	大分トリニータ、キラヴァンツ北九州他
幸野志有人	フレンドリー Jrユース	U-16, 17, 18, 19, 20, 21 日本代表、FC東京、大分トリニータ他
石川 大徳	フレンドリー S C 江戸川	サンフレッチェ広島、ベガルタ仙台他
高木 義成	FC85	名古屋グランパス、東京ヴェルディ他
半谷 陽介	FC春江	東京学芸大学、コロラド・スプリング・スイッチボックス (アメリカ) 他
富樫 佑太	ヴァロール SC	ウラカン・バレンシア FC (スペイン)、FC琉球他
浦田 樹	ヴァロール SC	U-17, 20 日本代表、FCソリア (ウクライナ)、ジェフユナイテッド千葉他
長野 風花	FCパルティレ	U-16, 17, 19, 20, なでしこ日本代表 (2023 女子ワールドカップ、パリオリンピック出場)、リヴァプール FC (イングランド) 他

江東区

氏名	出身チーム	代表する所属チーム
ディビッドソン 純 マーカス	江東 YMCA	大宮アルディージャ、アルビレックス新潟他
梶山 陽平	江東 FC	U-17, 18, 19, 20, 21, 22, 23 日本代表 (北京オリンピック出場)、パナシナイコス (ギリシャ) 他
眞行寺和彦	砂町 SC	水戸ホーリーホック、ブラウブリッジ秋田他
染谷 悠太	城東フェニックス	U-16 日本代表、京都サンガ FC、セレッソ大阪他
大久保将人	五砂 FC	川崎フロンターレ、FC琉球他
大久保拓生	砂町 SC	ジェフユナイテッド市原、清水エスパルス他
横山 壘	パディ SC	東洋大学、モンテディオ山形他
鈴木 俊也	フレンドリー S C 江東	早稲田大学、大宮アルディージャ他
塩具 健人	パディ SC	慶応大学、横浜マリノス、NEC ナイメヘン (オランダ) 他
サニブラウン・ アブデル・ハナン	フレンドリー S C 江東	アビスパ福岡、ソルティエロ千葉他
大澤 春花	FC城東	U-16, 17, 19, 20, 22 日本代表、ジェフユナイテッド市原・千葉レディース他
甲斐 碧海	五砂 FC	山梨学院大学、大宮アルディージャ他

葛飾区

氏名	出身チーム	代表する所属チーム
山本 正男	修徳高校	ジュビロ磐田、佐川急便東京 SC 他
高崎 亮平	ヴェルディ Jrユース	1FCザールブリュッケン、ASC Dudweiler (ドイツ) 他
金 宏明	東京朝鮮中	慶南 FC (韓国)、ダービーシティ・ローバーズ (アメリカ) 他
広庭 輝	日体柏高校	柏レイソル、ツエーゲン金沢他
高澤 優也	流通経済大学	大分トリニータ、町田ゼルビア他

足立区

氏名	出身チーム	代表する所属チーム
井出 遙也	クリアージュロッキー	ガンバ大阪、ヴィッセル神戸他
廣末 陸	中北少年 SC	町田ゼルビア、レノファ山口他
工藤 壮人	東伊興 SSS	柏レイソル、バンクーバーホワイトキャップス (アメリカ) 他
長谷川太郎	FC千住イーグルス	柏レイソル、ヴァンフォーレ甲府他
山下杏也加	東加平キッカーズ	U-19, なでしこ日本代表 (2019, 2023 女子ワールドカップ、東京、パリオリンピック出場、INAC 神戸レオネッサ他)
村岡 真美	クリアージュロッキー	U-17 日本代表、オルガ鴨川 FC 他

墨田区

氏名	出身チーム	代表する所属チーム
山本 摩也	木下川 SC	U-16 日本代表、スフィーダ世田谷 FC、バレンシア CFF (スペイン) 他
小島 千明	木下川 SC	アレマニア・アーヘン (ドイツ)、FC琉球 OKINAWA レディース他
荒川結乃花	押上 FC	U-15 日本女子選抜、スフィーダ世田谷 FC 他

Anniversary ~Since1968~

50周年の思い出

第25回 墨東五区サッカー選手権大会開会式

於：荒川四ツ木橋緑地球技場 (平成7年11月19日)



開会式に臨む墨東五区役員の方々



選手宣誓を受ける奥山澄雄墨田区長



1995年少女



2007年一般



2007年中学



2007年中学



2008年女子



2008年女子



2008年中学



2009年中学



2010年一般



2010年一般・中学



2011年一般



2011年少女



2011年女子



2012年



2012年女子



2013年一般



2015年一般



2015年一般



2015年中学



2016年中学



2016年一般



2017年一般



2017年一般



2017年少年



2017年少年



2017年少年



2017年少女



2017年少年



2017年少年



2018年少年



2018年少年



2018年少年



2019年一般



2019年少女



2019年一般



2019年一般



2022年 開会式



2022年 開会式



2022年一般



2022年一般



2022年一般



2022年少年



2022年少年



2023年一般



2023年一般



2023年少年



2023年審判員



2023年少年



2023年一般



2023年少年



2023年少年



2023年レディス・シニア



2023年レディス・シニア



2023年レディス・シニア



2023年レディス・シニア



2023年レディス・シニア



2023年レディス・シニア



墨東五区サッカー選手権大会記録

開催	総合優勝	一般の部	少年の部
第1回 江戸川区 (1971)		優勝 江東区 準優勝 葛飾区 第三位 江戸川区	
第2回 江東区 (1972)		優勝 江東区 準優勝 葛飾区 第三位 足立区	
第3回 葛飾区 (1973)		優勝 葛飾区 準優勝 墨田区 第三位 足立区	
第4回 足立区 (1974)		優勝 江戸川区 準優勝 江東区 第三位 足立区	
第5回 墨田区 (1975)		優勝 江戸川区 準優勝 葛飾区 第三位 足立区	
第6回 江戸川区 (1976)		優勝 葛飾区 準優勝 江東区 第三位 江戸川区	
第7回 江東区 (1977)		優勝 墨田区 準優勝 江戸川区 第三位 江東区	
第8回 葛飾区 (1978)		優勝 墨田区 準優勝 足立区 第三位 葛飾区	
第9回 足立区 (1979)		優勝 墨田区 準優勝 足立区 第三位 江戸川区	
第10回 墨田区 (1980)		優勝 江戸川区 準優勝 墨田区 第三位 足立区	
第11回 江戸川区 (1981)		優勝 足立区 準優勝 葛飾区 第三位 墨田区	
第12回 江東区 (1982)		優勝 足立区 準優勝 墨田区 第三位 江戸川区	
第13回 葛飾区 (1983)		優勝 足立区 準優勝 墨田区 第三位 江戸川区	

開催	総合優勝	一般の部	少年の部
第14回 足立区 (1984)		優勝 足立区 準優勝 墨田区 第三位 葛飾区	
第15回 墨田区 (1985)		優勝 墨田区 準優勝 足立区 第三位 江戸川区	エキシビジョン
第16回 江戸川区 (1986)		優勝 墨田区 準優勝 江戸川区 第三位 足立区	エキシビジョン
第17回 江東区 (1987)		優勝 墨田区 準優勝 葛飾区 第三位 足立区	エキシビジョン
第18回 葛飾区 (1988)		優勝 足立区 準優勝 葛飾区 第三位 墨田区	エキシビジョン
第19回 足立区 (1989)	足立区	優勝 足立区 準優勝 葛飾区 第三位 墨田区	優勝 足立区 準優勝 江戸川区 第三位 葛飾区
第20回 墨田区 (1990)	葛飾区	優勝 葛飾区 準優勝 足立区 第三位 江戸川区	優勝 葛飾区 準優勝 墨田区 第三位 足立区
第21回 江戸川区 (1991)	足立区	優勝 足立区 準優勝 江東区 第三位 江戸川区	優勝 足立区 準優勝 葛飾区 第三位 墨田区
第22回 江東区 (1992)	足立区	優勝 江東区 準優勝 足立区 第三位 江戸川区	優勝 葛飾区 準優勝 墨田区 第三位 足立区
第23回 葛飾区 (1993)	葛飾区	優勝 葛飾区 準優勝 足立区 第三位 江東区	優勝 葛飾区A 準優勝 足立区 第三位 葛飾区B
第24回 足立区 (1994)	足立区	優勝 江戸川区 準優勝 足立区 第三位 葛飾区	優勝 江東区 準優勝 足立区 第三位 葛飾区
第25回 墨田区 (1995)	足立区	優勝 足立区 準優勝 江戸川区 第三位 墨田区	優勝 足立区 準優勝 江東区 第三位 墨田区A
第26回 江戸川区 (1996)	江戸川区	優勝 江戸川区 準優勝 墨田区 第三位 足立区	優勝 江東区 準優勝 葛飾区 第三位 江戸川区

墨東五区サッカー選手権大会記録

開催	総合優勝	一般の部	少年の部
第27回 江東区 (1997)	足立区	優勝 足立区	優勝 葛飾区
		準優勝 墨田区	準優勝 足立区
		第三位 葛飾区	第三位 江戸川区
第28回 葛飾区 (1998)	江戸川区	優勝 江戸川区	優勝 墨田区
		準優勝 足立区	準優勝 江東区
		第三位 葛飾区	第三位 葛飾区
第29回 足立区 (1999)	江戸川区	優勝 江戸川区	優勝 江戸川区
		準優勝 足立区	準優勝 葛飾区
		第三位 葛飾区	第三位 墨田区
第30回 墨田区 (2000)	足立区	優勝 足立区	優勝 葛飾区
		準優勝 墨田区	準優勝 江戸川区
		第三位 江戸川区	第三位 江東区
第31回 江戸川区 (2001)	墨田区	優勝 墨田区	優勝 江東区
		準優勝 葛飾区	準優勝 墨田区
		第三位 江東区	第三位 江戸川区B
第32回 江東区 (2002)	江東区	優勝 江東区	優勝 江東区A
		準優勝 江戸川区	準優勝 葛飾区
		第三位 足立区	第三位 墨田区
第33回 葛飾区 (2003)	墨田区	優勝 墨田区	優勝 江戸川区
		準優勝 足立区	準優勝 江東区
		第三位 葛飾区	第三位 墨田区
第34回 足立区 (2004)	江戸川区	優勝 江戸川区	優勝 葛飾区
		準優勝 江東区	準優勝 江戸川区
		第三位 足立区	第三位 足立区B
第35回 墨田区 (2005)	江戸川区	優勝 足立区	優勝 江戸川区
		準優勝 江戸川区	準優勝 墨田区A
		第三位 墨田区	第三位 葛飾区
第36回 江戸川区 (2006)	墨田区	優勝 江戸川区	優勝 足立区
		準優勝 墨田区	準優勝 葛飾区
		第三位 江東区	第三位 江東区
第37回 江東区 (2007)	江東区	優勝 墨田区	優勝 江東区A
		準優勝 江東区	準優勝 江戸川区
		第三位 葛飾区	第三位 葛飾区
第38回 葛飾区 (2008)	葛飾区	優勝 葛飾区	優勝 江戸川区
		準優勝 江戸川区	準優勝 葛飾区
		第三位 墨田区	第三位 江東区
第39回 足立区 (2009)	江東区	優勝 江東区	優勝 江戸川区
		準優勝 墨田区	準優勝 葛飾区
		第三位 足立区	第三位 江東区
第40回 墨田区 (2010)	江戸川区	優勝 墨田区	優勝 江東区
		準優勝 江戸川区	準優勝 江戸川区
		第三位 葛飾区	第三位 足立区

開催	総合優勝	一般の部	少年の部
第41回 江戸川区 (2011)	葛飾区	優勝 墨田区	優勝 葛飾区
		準優勝 葛飾区	準優勝 足立区
		第三位 足立区	第三位 墨田区
第42回 江東区 (2012)	足立区	優勝 足立区	優勝 足立区
		準優勝 江東区	準優勝 墨田区
		第三位 墨田区	第三位 江戸川区
第43回 葛飾区 (2013)	江東区	優勝 江東区	優勝 江東区
		準優勝 江戸川区	準優勝 葛飾区
		第三位 墨田区	第三位 墨田区
第44回 足立区 (2014)	江戸川区	優勝 墨田区	優勝 江戸川区
		準優勝 江戸川区	準優勝 葛飾区
		第三位 足立区	第三位 江東区
第45回 墨田区 (2015)	墨田区	優勝 墨田区	優勝 江東区
		準優勝 足立区	準優勝 葛飾区
		第三位 江東区	第三位 墨田区A
第46回 江戸川区 (2016)	足立区	優勝 足立区	優勝 江東区
		準優勝 江戸川区	準優勝 足立区
		第三位 江東区	第三位 墨田区
第47回 江東区 (2017)	江戸川区	優勝 墨田区	優勝 江戸川区
		準優勝 足立区	準優勝 葛飾区
		第三位 江戸川区	第三位 足立区
第48回 葛飾区 (2018)	江東区	優勝 墨田区	優勝 江戸川区
		準優勝 足立区	準優勝 江東区
		第三位 江東区	第三位 葛飾区A
第49回 足立区 (2019)	足立区	優勝 墨田区	優勝 江戸川区
		準優勝 足立区	準優勝 足立区
		第三位 江東区	第三位 葛飾区
(2020)	延期		
(2021)	延期		
第50回 墨田区 (2022)	足立区	優勝 足立区	優勝 江戸川区
		準優勝 江東区	準優勝 葛飾区
		第三位 墨田区	第三位 江東区
第51回 江戸川区 (2023)	江東区	優勝 江東区	優勝 江東区
		準優勝 墨田区	準優勝 江戸川区B
		第三位 足立区	第三位 江戸川区A



旧カップ



新カップ

(各区連盟・協会でも新調しました)

半世紀に渡り、墨東五区サッカー選手の目標であった優勝カップ。たくさんの選手を見守ってきた歴史ある優勝カップも50年の節目に新旧交代となりました。たくさんの方々の夢をありがとう。お疲れ様でした。

発行日／令和6年11月1日

編集後記

発行にあたりまして寄稿いただきました方々、資料及び写真を、ご提供いただきました方々、そして記念誌にご尽力いただきました50周年実行委員会の皆様に感謝申し上げます。

墨東五区サッカー選手権大会の活動において、公益財団法人東京都サッカー協会、行政、スポーツ協会その他の各関係団体様には各別なご理解ご協力をお願いいたします。誠にありがとうございます。

50周年記念誌実行委員

委員長

墨田区サッカー協会
清水 裕三

委員

墨田区サッカー協会
田中 猛
江東区サッカー連盟
江田 修久
葛飾区サッカー協会
栗屋 英正
足立区サッカー協会
菅 肇

江東区サッカー連盟

上田 崇雄

一般財団法人 葛飾区サッカー協会

松村 龍雄

足立区サッカー協会

安達 一之
石川 義晴





50th
Anniversary